

科目ナンバリング		U-LAS51 10030 SB48							
授業科目名 <英訳>		アクティブリスニング(全・英)-E3 Active Listening (All Faculties, English)-E3			担当者所属 職名・氏名		国際高等教育院 教授 柳瀬 陽介		
群	キャリア形成科目群		分野(分類)	国際コミュニケーション		使用言語	日本語及び英語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2024・後期		曜時限	水1		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
<p>本科目は、英語による講義を履修するために必要となるリスニング能力の育成を目的とする。リスニング能力の育成では、語・文レベルでの聴解力を重視するボトムアップ型と、背景知識や文脈などを活用した意味理解を重視するトップダウン型の両方を組み合わせる。リスニング能力の向上により、主体的に英語での講義に参加できることを目指す。</p>									
【到達目標】									
<p>本科目は、以下の3つを到達目標として定める。この科目が修了する時点で受講生が以下の能力を身につけることを目標とする。</p> <p>(1)英語の音声的特徴(母音、子音、リズム、イントネーション、連結、脱落、同化など)を分析的に理解し、その知識をリスニングの際に利用することができる。</p> <p>(2)文脈や背景知識、発話の状況を活用して、次にくる情報や内容などを予測したり、自身の理解を修正したりする方法を身につけ、その方法をリスニングの際に利用することができる。</p> <p>(3)英語の概論的講義(10-20分程度)を聞いて、その概要や要点を的確に把握することができる。</p>									
【授業計画と内容】									
<p>第2週から第11週の授業は、基本的に3つのユニットで構成されます。1)提出されたポートフォリオについてのコメント、2)英語の音声的特徴についての学習(ボトムアップ型学習)、3)有意義な英語サイトの紹介(トップダウン型学習)。</p> <p>第12週から第14週では、それまで学んだことを応用する形で、英語講義でのノートの取り方を学びます。</p> <p>以下のリストは、それぞれの週での学びの内容をまとめたものです。</p>									
<ol style="list-style-type: none"> 1: 導入: 授業の目標や教室文化についての説明、およびデジタル環境の整備など 2: 母音と入門用サイト (VOA, News in Levels) 3: 子音と既習内容サイト (Khan Academy) 4: 同化と教育用サイト1 (TED-Ed, Kurzgesagt) 5: 脱落・子音連続と教育用サイト2 (5 Minutes, Knowledgia, Mind Your Decisions, 3Blue1Brown) 6: 短縮形・破裂と学術英語サイト1 (有名10名大学のYouTubeチャンネル) 7: 連結1と学術英語サイト2 (Science, Nature) 8: 連結2と英語変種サイト1 (第1言語としての英語) 9: リズムと英語変種サイト2 (第2言語・外国語としての英語) 10: イントネーション1と発展的サイト1 (グローバルサウス出身のスタンダップコメディアン) 11: イントネーション2と発展的サイト2 (映画で学ぶアメリカ英語の発音とリスニング) 12: ノートテイキング実践1 (省略表記に慣れる) 13: ノートテイキング実践2 (ノートの一情報の活用) 14: ノートテイキング実践3 (ノートの編集と概要執筆) 15: 期末試験 (教師が新たに示す英語動画を視聴し、その要点を英語でまとめる。加えて、その動画に対する質問を英語で書く)。 									
----- アクティブリスニング(全・英)-E3(2)へ続く -----									

アクティブリスニング (全・英) -E3(2)

16: フィードバック (PandA上でフィードバックを示すと共に、授業時間には希望者の研究室訪問を歓迎する)

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

以下の (a)-(c) の3項目を評価し、それぞれの比率で合計点を出して評価得点とする。
(a) 復習課題として毎週提出するポートフォリオ (50%) : 主に到達目標の(1)と(2)を評価
(b) 積極的な授業参加 (20%) : 主に到達目標の(1)と(2)を評価
(c) 期末試験 (30%) : 主に到達目標の(3)を評価

【教科書】

深澤俊昭 『英語の発音パーフェクト学習事典 (改訂版)』 (アルク 2015年) ISBN:978-4-7574-2613-9

【参考書等】

(参考書)

授業中に紹介する

(関連URL)

https://www.i-arcc.kyoto-u.ac.jp/english/tips/contents_jp#frame-322(英語リスニング力を向上させるために)

<https://www.i-arcc.kyoto-u.ac.jp/english/soundfeatures>(英語音声の特徴: 口語英語の音声変化)

https://www.i-arcc.kyoto-u.ac.jp/english/interviews_jp(京都大学自律的英語ユーザーへのインタビュー)

https://www.i-arcc.kyoto-u.ac.jp/english/websites_jp(自律的学習に有益なウェブサイトやアプリを探すためのデータベース)

https://www.i-arcc.kyoto-u.ac.jp/english/consultation_jp_FAQ(英語学習相談: よくある質問)

<https://yanase-yosuke.blogspot.com/2023/10/youtube.html>(【まとめ記事】英語の発音を自学自習できるYouTube動画のリスト)

【授業外学修 (予習・復習) 等】

授業の予習は不要ですが、復習としては第1~14週まで必ずポートフォリオを提出してください(「成績評価の方法・観点」の(a)を参照)。ポートフォリオには、授業で学んだことで特に記憶すべきこと、および授業後に行った自学自習で学んだことなどを記録して、今後自分が読み直す価値があるものにしてください。

【その他 (オフィスアワー等)】

「教室は、学習者が安心して間違い、その間違いから学ぶ場所」と心得ています。教室内に心地よい学びの共同体文化を創りましょう。

授業にはインターネットが使えるラップトップとイヤフォンをもってきてください。

個人相談は随時受け付けますから、授業の前後か、メール (yanase.yosuke.3n@kyoto-u.ac.jp) で尋ねて、お互いに都合のよい時間を決めましょう。